

古川内閣府特命担当大臣（宇宙政策）
「宇宙の日」記念行事 大臣メッセージ
（相模原市立博物館（神奈川県））

本日の「宇宙の日」記念行事、全国小中学生作文絵画コンテストの受賞者とそのご家族の皆様方に対して、心からお祝い申し上げます。

宇宙は、現在の我々の生活を維持し、豊かにしていく上で無くてはならない重要な基盤になっております。我々が日常的に利用しているテレビ放送やインターネット、カーナビ、天気予報なども宇宙利用無くしては存在し得ません。

このように、宇宙の開発及び利用は、我々の暮らしを良くし、安心・安全な社会を作り、新たな産業活動の創出や宇宙科学の振興など、日常生活から科学技術に至る幅広い分野でその重要性が高まっています。

また、宇宙の開発及び利用は、一昨年の小惑星探査機「はやぶさ」の地球帰還や、国際宇宙ステーションにおける星出宇宙飛行士をはじめとした日本人宇宙飛行士の活躍など、国民に夢と希望を与えるものです。

現在宇宙で活躍している宇宙飛行士たちも、最初はこの会場の皆さんと同じで、宇宙へのあこがれや夢を持っていたことと思います。本日、お集まりの小・中学生の皆様におかれましても、今後とも宇宙に対する夢と関心を忘れずに、願わくば将来の我が国の宇宙開発利用を背負って立っていただければと思っています。

政府は、宇宙政策を国家戦略として推進していくことと

しており、先日、我が国の宇宙政策の司令塔として内閣府に宇宙戦略室を設置いたしました。

私は、宇宙政策においては、夢と実利の両方が、いわば車の両輪のように大事だと考えています。今後、新しい体制の下で、宇宙開発利用における研究開発から実用化、産業化、さらには幅広い利用に至るまでの政策を相互にしっかりと連携させて推進していきます。

最後に、本日のイベントの開催にご尽力された皆様に感謝申し上げますとともに、ここにお集まりの皆様のご健勝を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

平成24年9月16日
内閣府特命担当大臣（宇宙政策）
古川 元久